









いいわ？

この私が見本を
見せてあげる…



ふふ…
ユイ

3年間修行して
その程度なの？

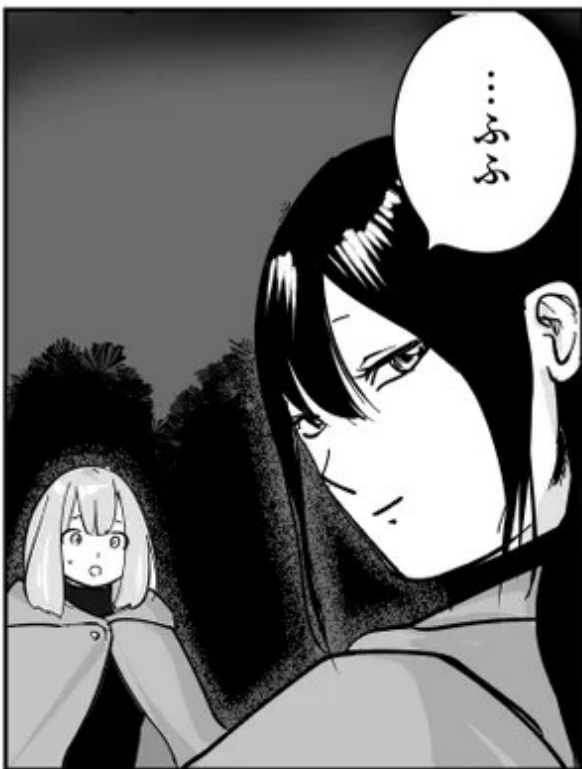
はあ…

はあ…



出るわ！
ナナの竜生成
魔法…





ではこれにて
本日の魔法演武は
終了よ…

みんなよく
頑張ったわ

あなたたちの
卒業の時期も
近づいてきたけど

残りの時間も
日々の学びを忘れず
大切に過ごしてね

じゃあ宿舎に
戻るわよ？

夕食までに
各自入浴等
すませるように…

はい！

みんな3年間で
ずいぶん実力を
上げたよね…

この学園に入って
みんなに会えたし
本当に良かった！

ざわ
ざわ

ユイ!

あんなに大きい炎を
生成できるように
なったのね!

凄かった
わよ!

トビ

フウカ委員長!

ありがとう
ございます…

でも念じてると
すぐに気が
乱れてしまって
疲弊してしまうんです…

みんな着々と
実力を
つけてるのに…

…私だけ
全然ダメです…

そんなことは
ないわよ?
ユイ…

カ…
カナン先生…

この学校に入ってきた
当初は全く魔法が
使えなかった者が
ここまで成長したのよ？

もっと自信を
もっていいわ

よしよし...

そうよ
ユイ...

ぱふ...

ユイの家は
大魔法使いの
家系だからね...

そのことで
気負いしすぎて
本来の力を発揮
できていないのよ

今は結果に
満足できなくても
継続していれば
必ず努力は報われる

ゆっくりでいい...
少しずつ
頑張るのよ
ユイ...

先生...

委員長...

カナン先生…
フウカ委員長…

落ちこぼれの私に
いつも優しい…

…大好き…

それにしても…

自分が
情けない…

ユイ…家を離れても
アバロニフ学園で
しっかり修行を積むのよ

私たちの一族は代々
大魔法使いとして
人々に尊敬されてきた

血を継ぐ者として
恥のないようにな

なあに
3年も修行すれば
さすがに大丈夫さ…
なあユイ？
ははは！

うう…

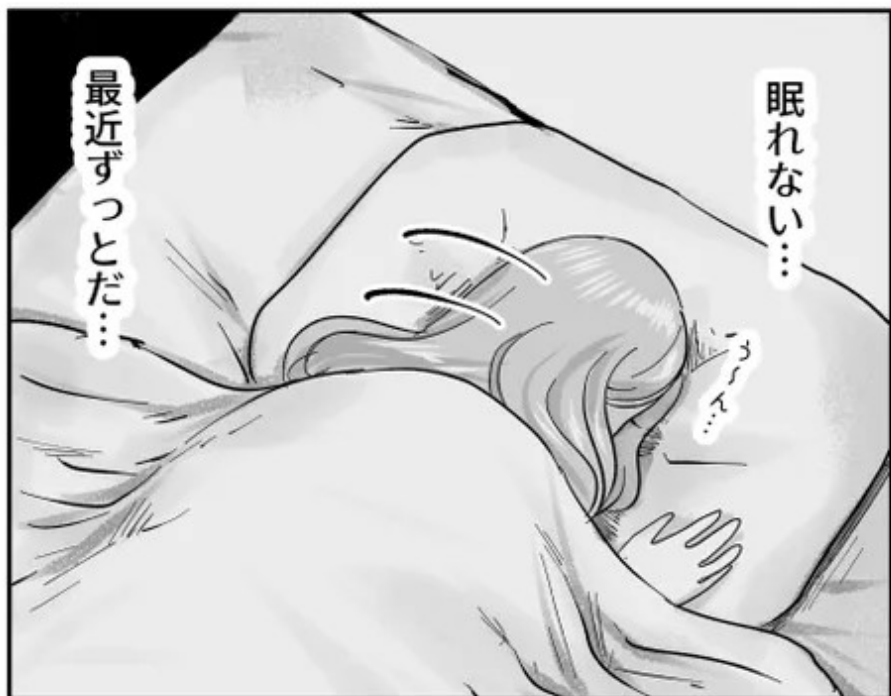
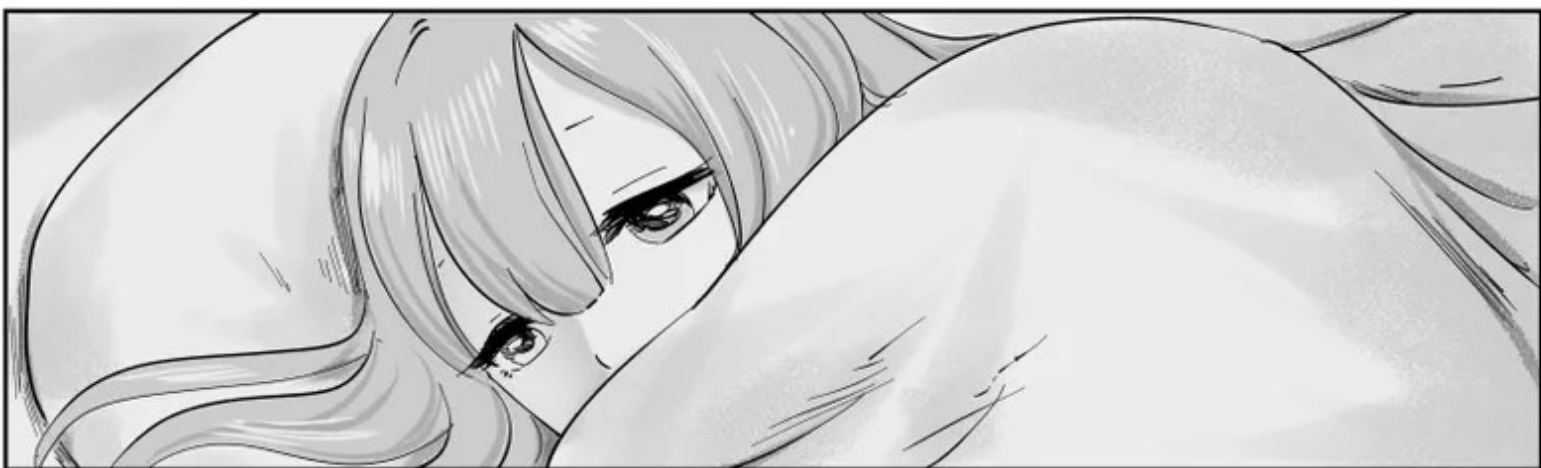
プレッシャーで
つぶれてしまう…

帰りたくないよ…

ブルブル…







眠れない…

最近ずっとだ…

みんなの期待を
背負って魔法学園に
入学したのに結果を
残せていない…

卒業した後
実家に帰るのが
怖い…

家族や親戚は
惨めな私を見て
幻滅するだろう…

祖父母も親も兄弟も
みんな優秀…

私だけが
そうではない…

家族はこんな私に
冷たく接する
だろうか…

無能な娘に
価値はないと…

このまま孤独なまま
一生を終えるんだろうな…

…
…
もう

どうでもいい…

…もう
苦しむ毎日に
疲れた…

せく…

この苦しみから
解放されたい…

すー
すー

…
…
…

コト...

寝相
悪いのね...

パンツ丸見え
だよ...?

スヤ...

...

可愛いおしり...

ほーおー...

コト…？

さつき私と
エッチしたいって
言ってたよね…

…いいよ？

私も…

女の子と
エッチしたい…

私…

女の子の
お尻が大好きなの…

はあ…

はあ…

ゴ
キ
ス
ス
ス

誰にも内緒に
していたけど…

もうダメ……

うう……ん……

んんんんん

パンツを突き抜けて
匂いが伝わる……

ズ
ズ

興奮しちゃうよ
コト……

はあ……

はあ……

こんなことしてるの
バレたら即退学かな……

……退学じゃなくても
誰もこんなヤバい奴に
口を聞いてくれないよね……

……

んんんんん

いいもん……

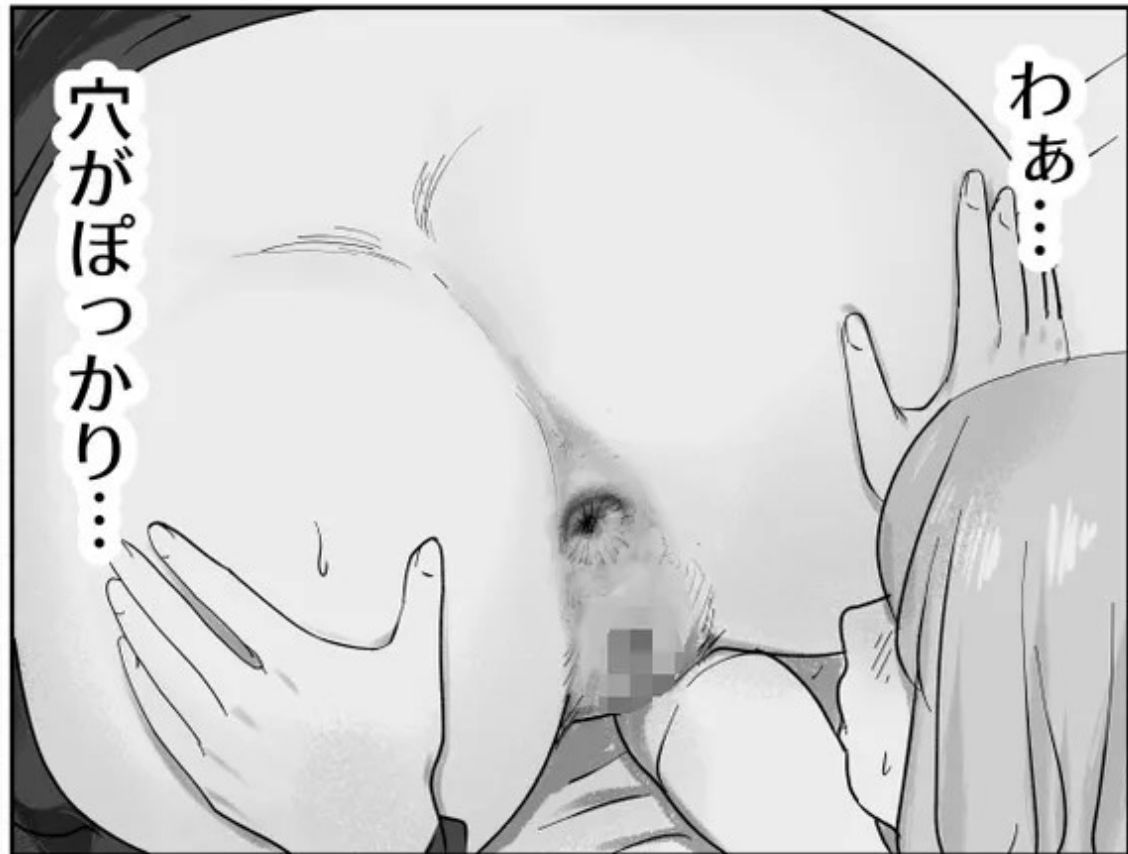
どうせ私は
孤立する運命……
失うものなんて
何もない……

グッ

やりたいことを
やってから
死ぬんだ……

うーん

ズッ
ズッ



おいしいよ？
コトのおしり…

ズル
ズル

人形のような
風貌が魅力的な
コト…

でも魔法は
私より各段に上…

嫉妬しちゃう…

普段はナナと
仲がいいよね…

もしかして
付き合ってた…

ズル
ズル

ズル

ごめんね？
こんなことして…

…でも今は…

はぁぁ…

今だけは
コトのおしりは
私のもの…

はぁぁ…

じっくり
味あわせて…？

れろろ
お

はぁ…

あん♡

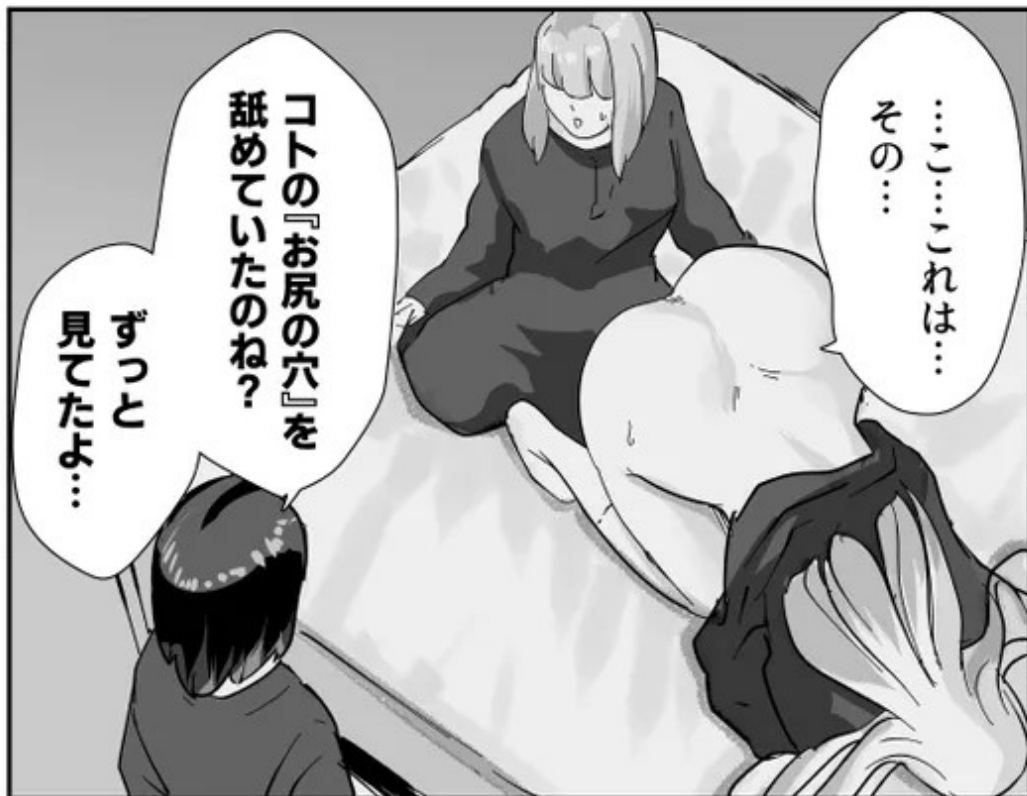
あん♡

何やってるの？
ユイ…

!!!

ビクッ









私は知ってたよ？
ユイがレズだとい
うこと…

でも
発覚が怖い…

その恐怖と不安が
私達の心を閉ざした…

でも同じ悩み
趣向をもつ者同士
心を解放しあえば…

もっと
楽に…

支え合いながら
生きていけると
思わない？

……

…じゃ…
じゃあ…

サキも
コトのお尻
舐める？

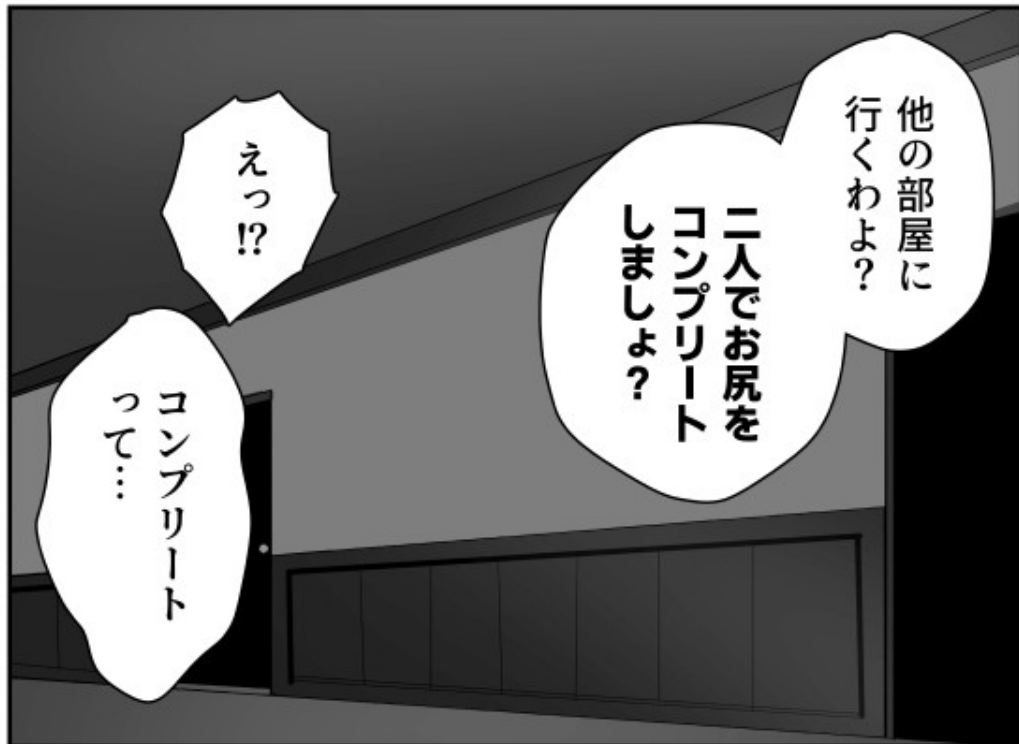
ナハア…

…嫌よ

もっとフレッシユな
お尻を舐めたいわ？



ぜ…
全員のを
舐めるつもり？



他の部屋に
行くわよ？

二人でお尻を
コンプリート
しましょ？

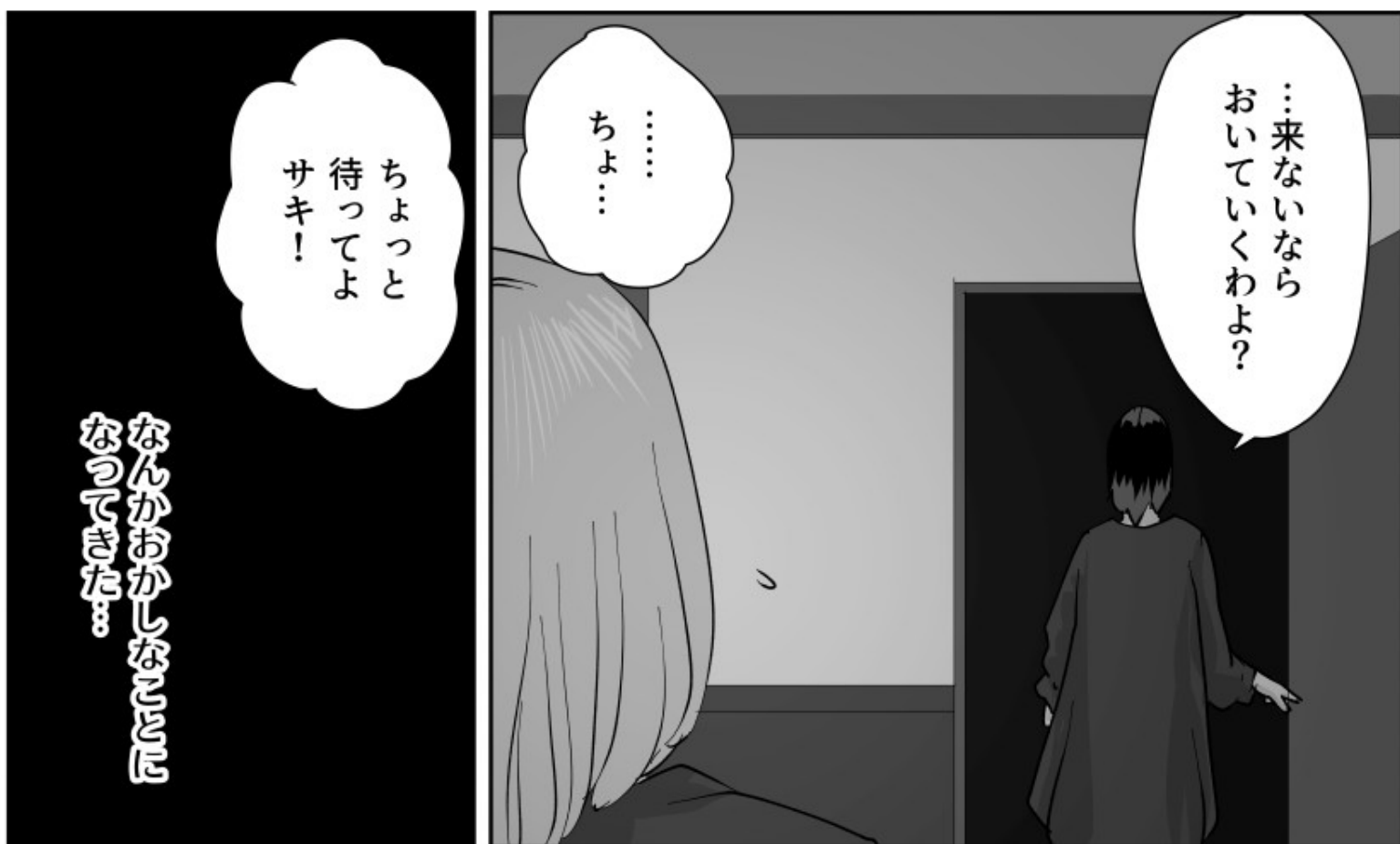
えっ!?

コンプリート
って…



当たり前
でしょ？

早く
いくわよ？

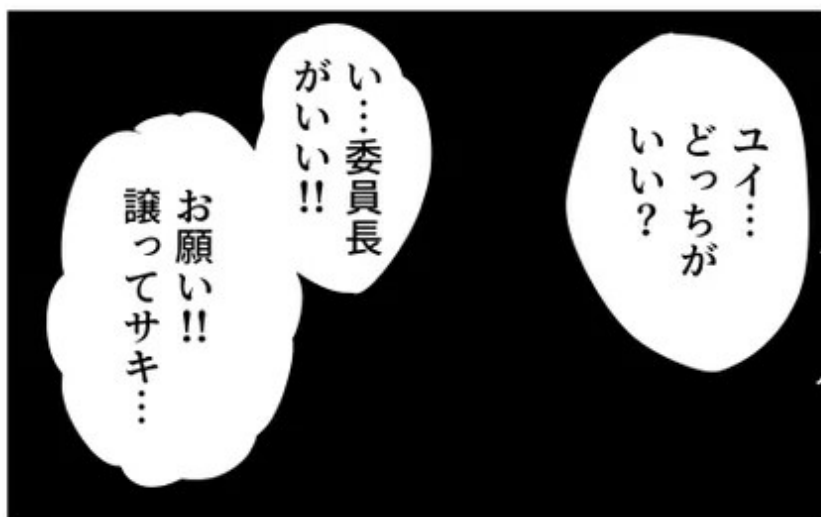


…来ないなら
おいていくわよ？

…
ちよ…

ちよつと
待ってよ
サキ！

なんかおかしいなと
なってきた。



委員長…

すず
すず
や…

うん…

ごめんね
委員長…

でもおしり
だけだから
許して…

わあ…

委員長の
おしりキレイ…

もう我慢
できない…

はっ
はっ
はっ

すず
すず

うん…

…石鹸と
お尻の香りが…

優しくブレンド
されてる…

はああ…

いつも後ろから
委員長のお尻ばかり
見てたの…

…そのお尻が…

裸のお尻が今
私の目の前に…

ガサ…

……
……
……

あああ…

アハハ…

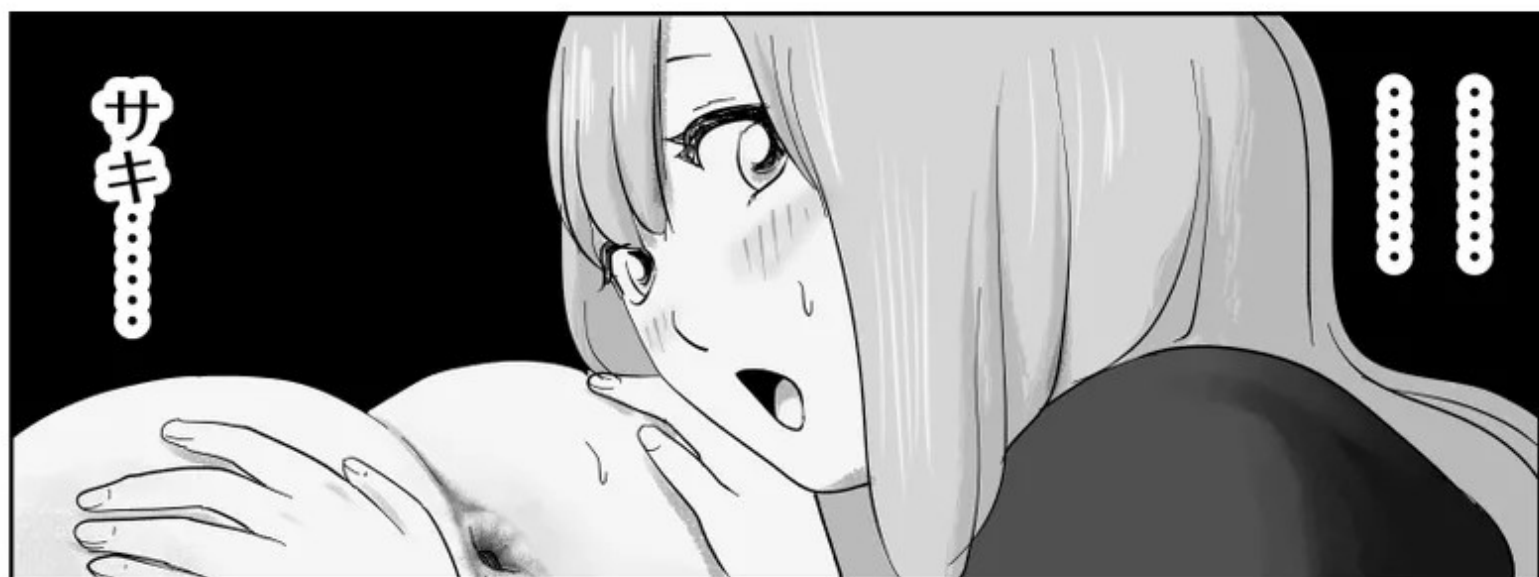
ふふ…

ニハハハ…

あああ…

委員長の
おしりい…

…ん？



スゴい形相で
舐めてる…

まるで獣のよう…

あ…

うふん…♡

………フン

普段威張っていても
寝ているときは
ただの雌…

最高にみつともない
格好よ？ナナ…

私に肛門を
舐められながら
夢でも見ていれば
いいわ…？

あん

ん♡

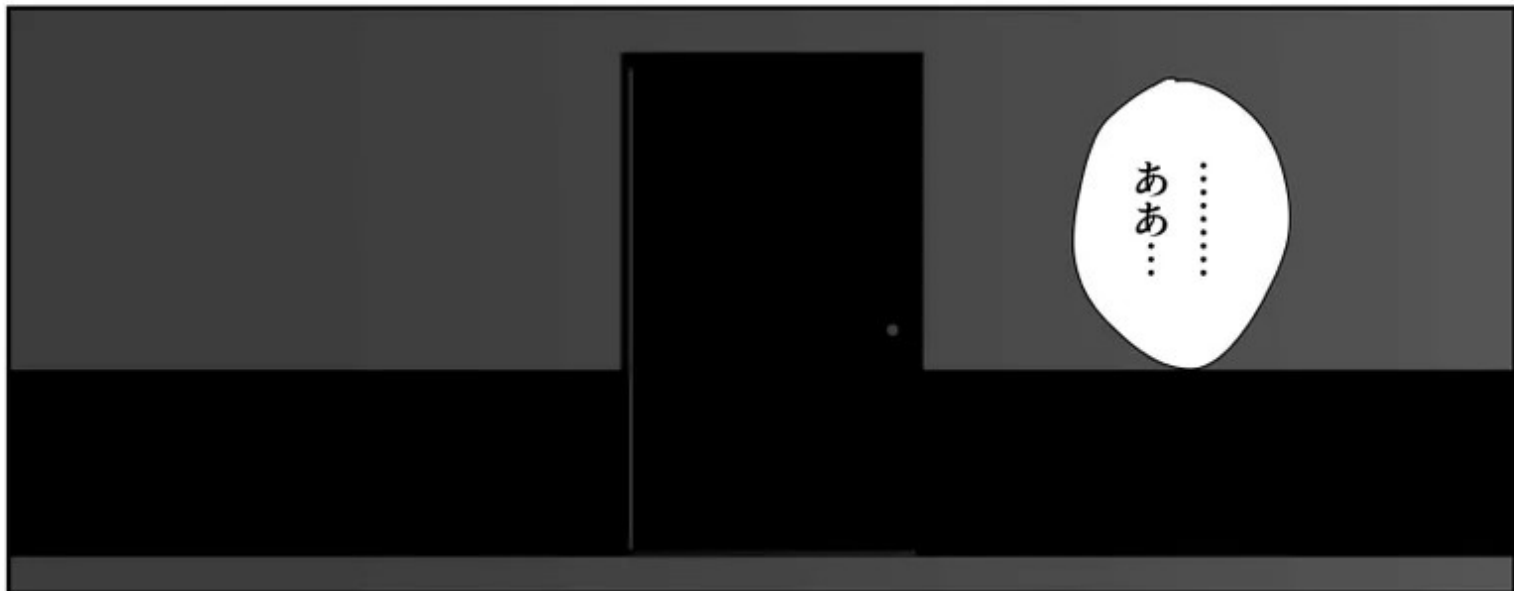
うう…ん

…もう…

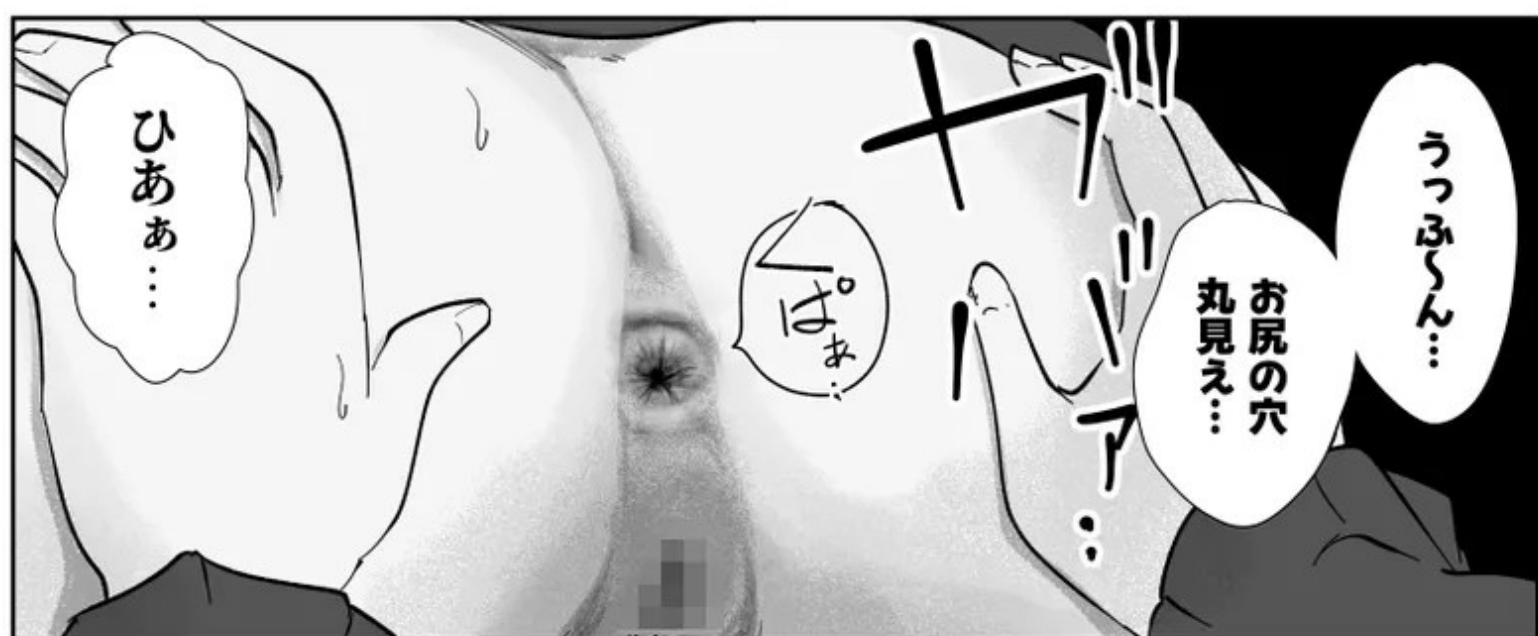
…起きちゃうよ
サキ…

ううん♡

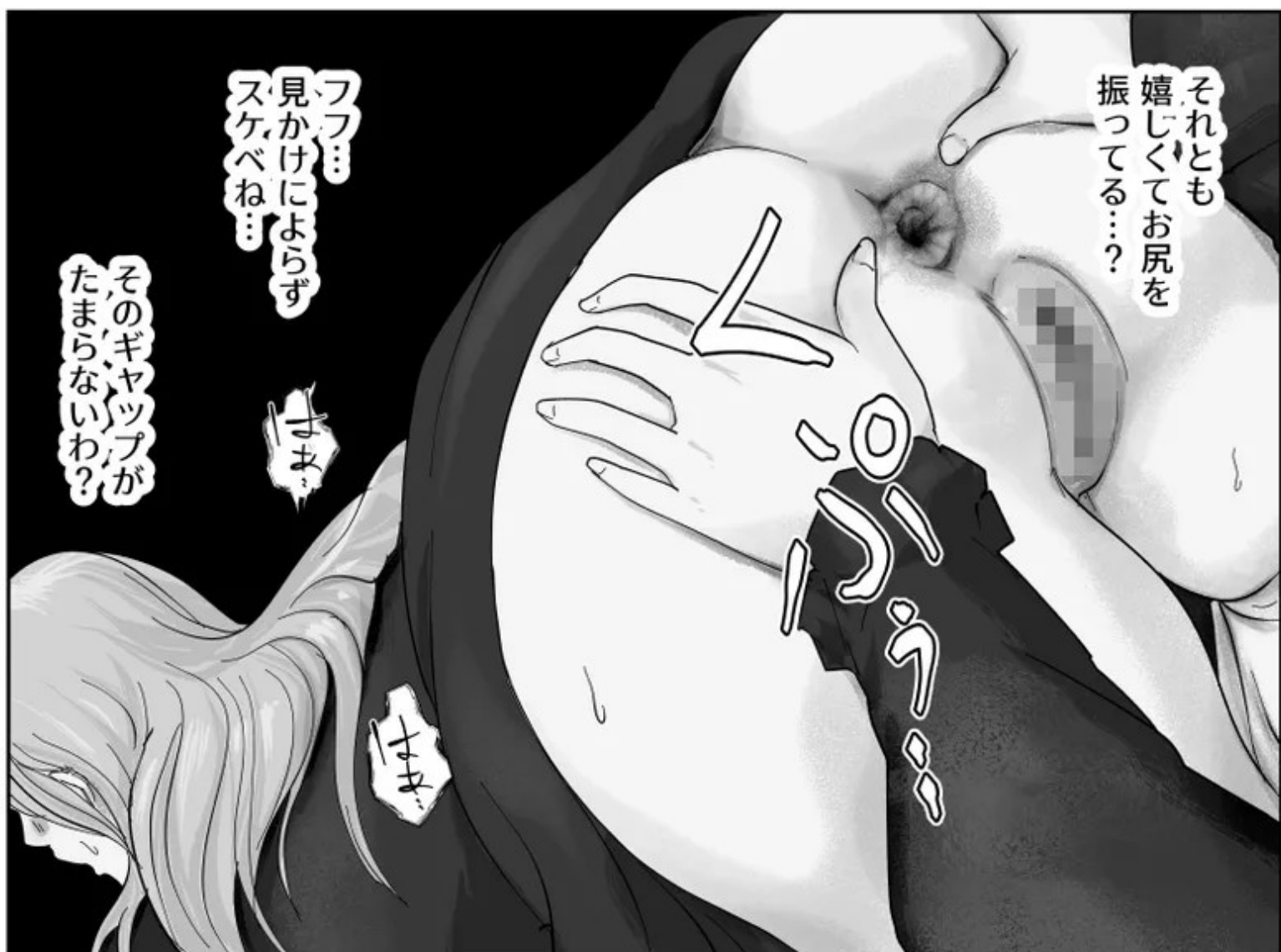












ユイ
そんなに委員長が
いいの…?

ヌッ

気づかない？
私の気持ち…

ん!!

ずっと
想っていたのよ？

同じ苦しみ…
同じ性衝動を共有する
者がこんなに近くに
いるのに…

ドニッ

すまん

気持ちを伝えたら
こっちに振り向いて
くれる？ユイ…

ももっ

怖くて
聞けない…

ずっ

ふん







ずっとユイの
お尻を舐めていて
あげたいけど…

お尻コンプリート
するって
言っちゃったし…

今日はこれで
終わりよ？



次行こうか…



…うん



…ふふ
一気にしおらしく
なっちゃって…



可愛い…



アナル舐めが
効いたようね…

気に入ったなら
毎日舐めて
あげてもいいのよ？
ユイ…

そのうちユイの方から
私にお尻を
向けてくるように
なるかもね…

そうになったら
嬉しいな…



いつでも
舐めてあげる…

いつでも
どこでも…

ユイと関係を
深めたいの…



oooooooooo
!!?

oooooooooo
~~~~~







わ…私のお尻に…

顔を  
うずめてる…

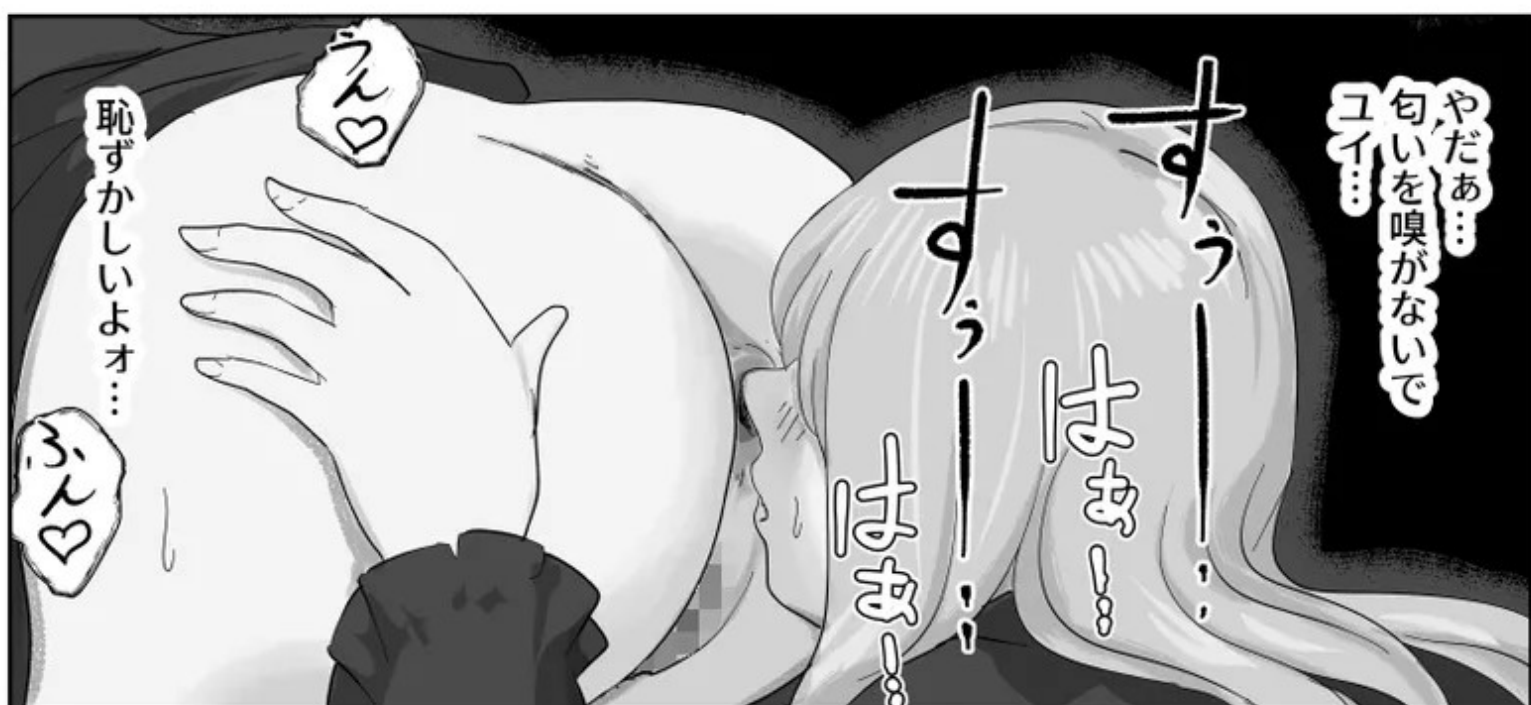
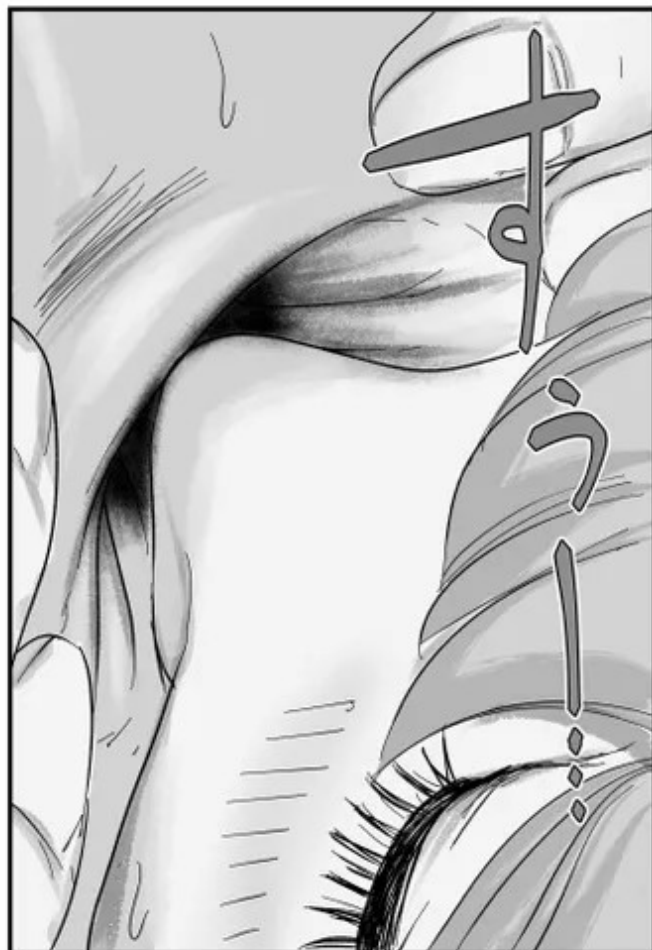
…ああ…  
…ユイ…

はあ

はあ

ぷはあ…

じゅる









もちろんだよ？  
サキ…

サキのこの穴…  
舐めつくしちゃう

グググ…



ああ…  
ユイ…

…嬉しい…

ズルズル…







カナン先生の  
お尻を舐めるの!!

この野望を  
成し遂げるまで  
死ねない!!

…ええっ!?

ド

ー

ほ…本気なの!?

ユイ…

もしばれたら  
今度は本当に  
退学だよ!?

退学など  
最初から  
覚悟の上…

…リスクが  
大きいから  
サキは部屋に  
戻ってていいよ?

私一人で行く…

……

ユ：ユイが  
壊れた…

い：いや…  
私もすでに  
同じ道を  
歩んでいる…

今さら  
戻れないか…

…ふふ

付き合うわ？  
ユイ…

死ぬときは  
一緒よ？

待ってよ  
ユイ…

………？

何か下半身に  
違和感…

ガサ…  
ゴーン…

ううん…



私はこっちを  
開くね？

じゃあ私は  
反対側…

せいの…

うふんっ!!

もんっ!!

えええ!!?









お……

おお……



私は魔法使い  
カナン…



この魔法学園アバロニフで  
魔女志望の女子生徒たちに  
魔法教育を指南する者…

ストイックに  
魔法のポテンシャルを  
探求しつつ…

次世代の  
大魔法使いを  
輩出すべく  
学園に貢献してきた…

学園長でさえ  
私には一目を  
おいている…

その私が今…

くっさる

そっち上げて？  
ユイ…

うん！

自分の教え子たちに  
肛門をいじくり  
まわされている…

一緒に  
嗅ごう？

この現実を  
一体どう解釈  
すればいい…？

うん…

スー  
ハー

くん  
くん…

くは  
あ  
ぐい  
じゃ

ブル…

ブル…

ああ…はあ

いやらしい  
におい…

すう

はあ ぁあ..



魔法の道と崇高的理想を  
結びつけ下位欲求を  
無意識下で遠ざけてきた…

そんな私でも  
いわゆる性衝動と  
無縁ではなかった…

気づかない内に  
現実を無視し精神を  
理想という牢獄に投じ  
自己の内なる衝動を  
抑圧してきた…

今起きている事態に抵抗せず  
むしろその先にある何かに  
期待しているこの現状こそ  
その理想の破綻を如実に  
示している…

ホジ

ホジ

ホジ

…たまには理性だけに  
捕らわれるのではなく…

成り行きや衝動に  
身を任せるのも  
いいのかもしれない…

…フフ  
ユイ…サキ…

先生を覚醒  
させたわね？

先生の大きいお尻を  
楽しみたいのかしら…？

むくっ

ふふ…  
可愛い子たち…

いいわよ？

わっ！！

うふうん…♡

イオオオオ

きゃあッ!!

二人とも…?

もう逃がさない  
からね…?

ああああ…

は

は

は

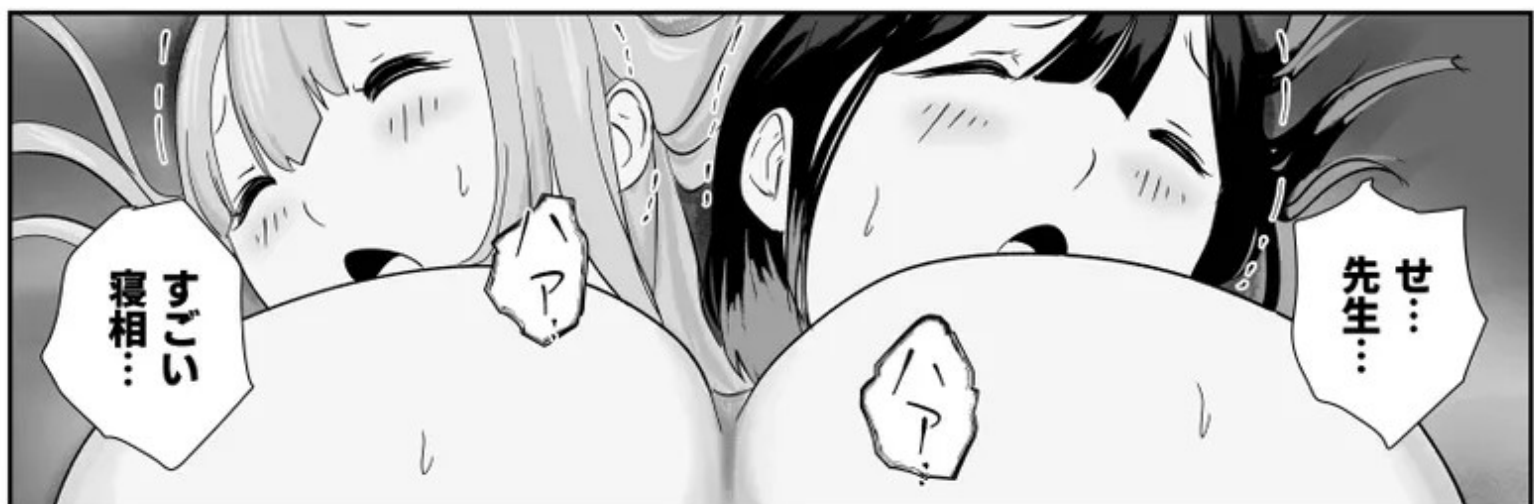
は

お…  
押しつぶされる…



せ…  
先生…

すい  
寝相…



先生…悪夢に  
うなされてる  
のかな…

…かもね…

私たちが先生を  
気持ちよくして  
悪夢から  
救ってあげよう!?

うん!

必殺ダブル  
アナル舐め…!!

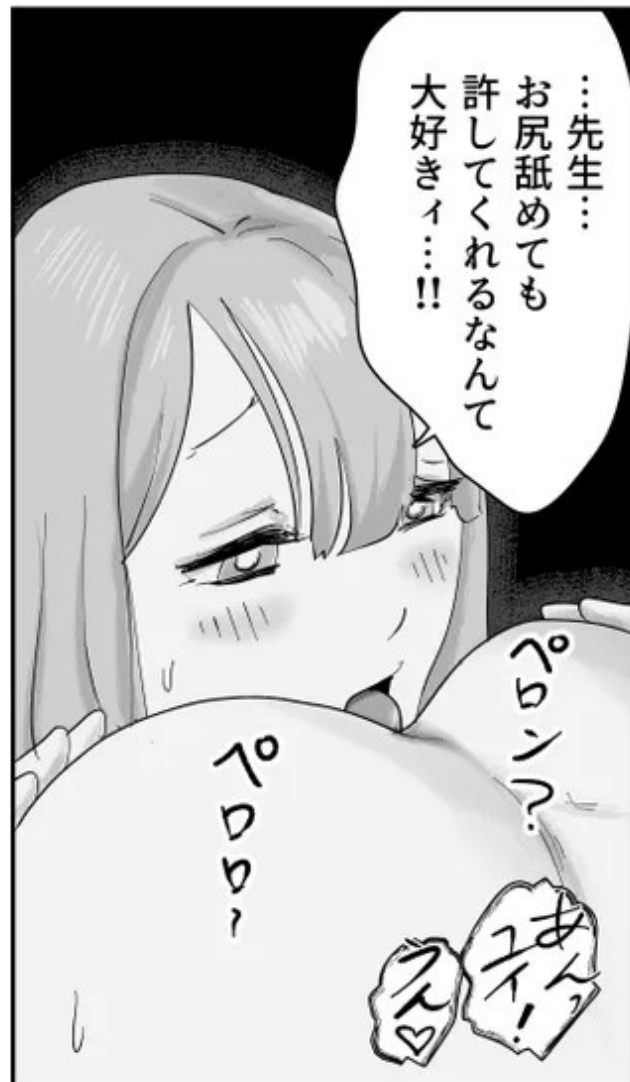
おれ  
ろろ  
おー

はああ…ん…♡♡

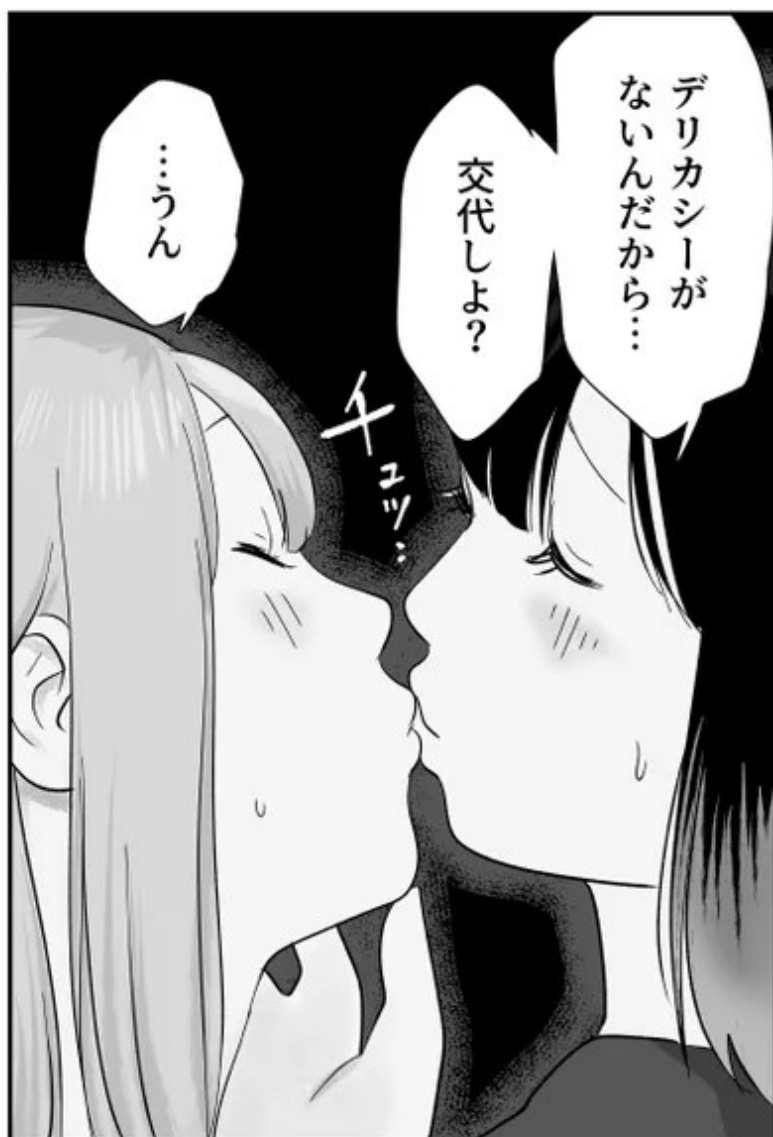
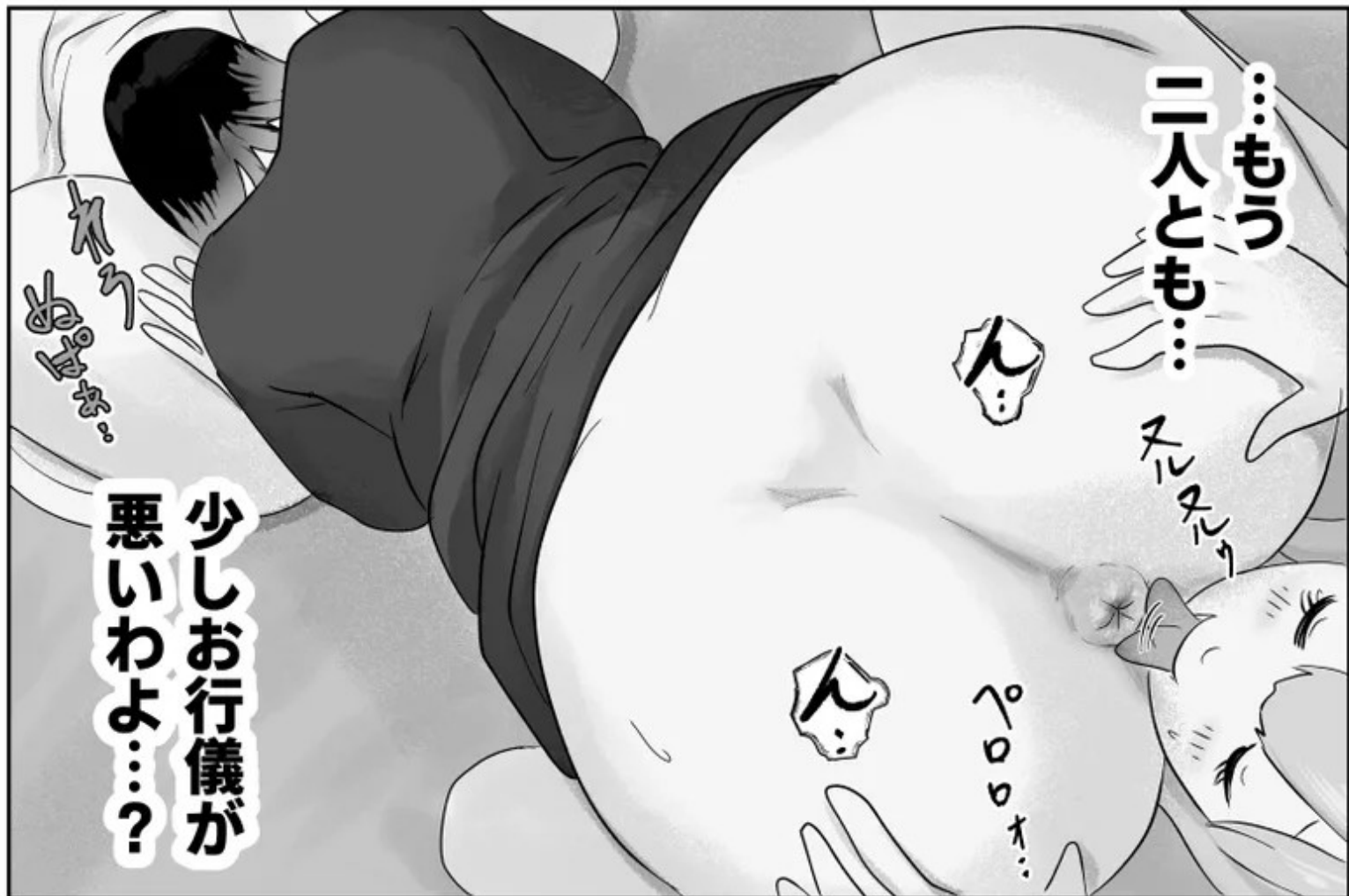
ふう…ん…♡♡

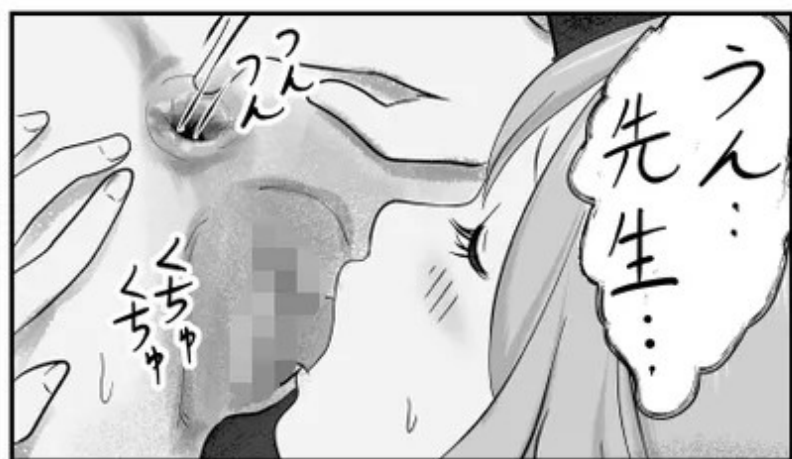
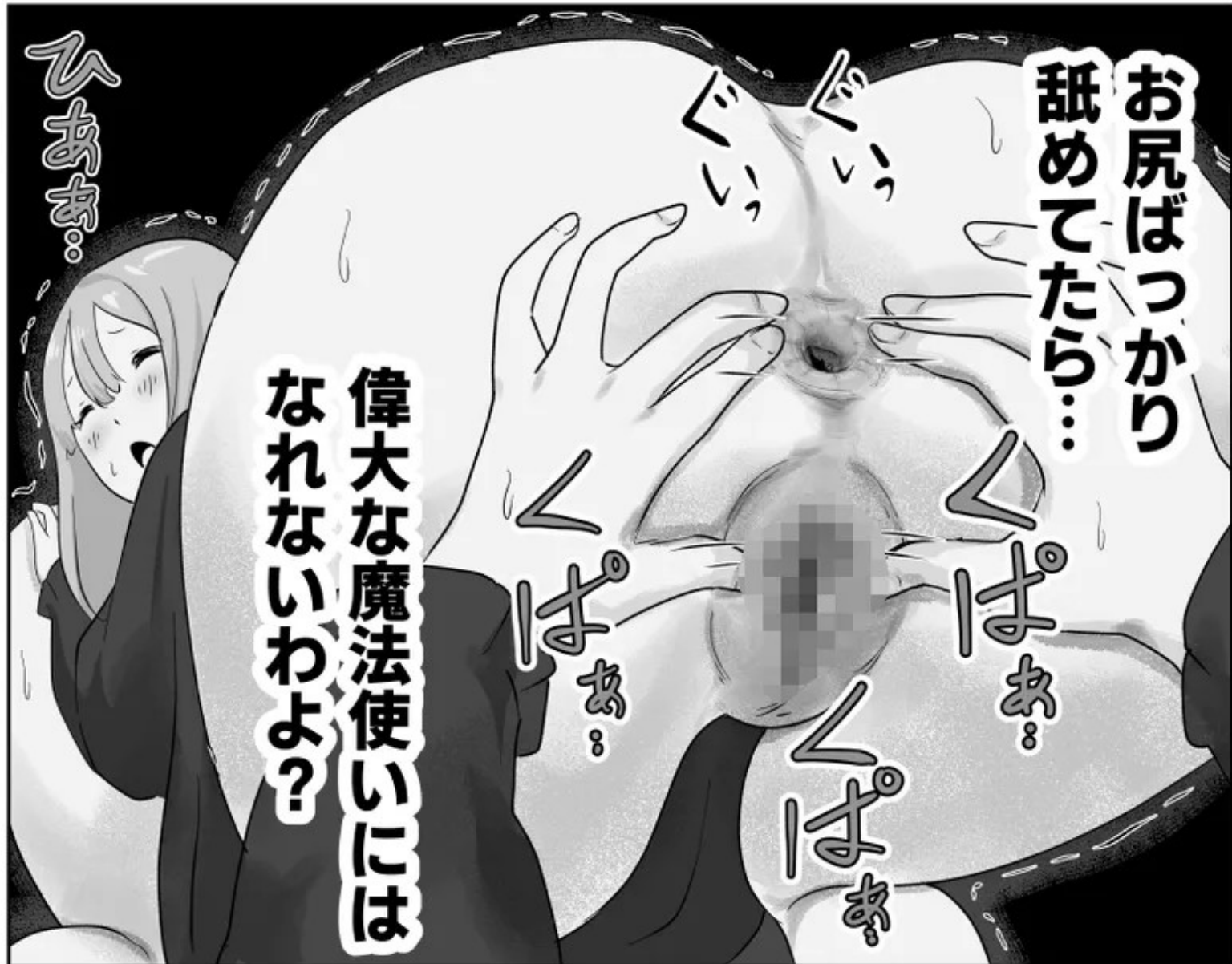












さあ…  
先生を集中  
攻撃よ？

二人で二つの  
穴を同時に  
攻めよう…

賛成…

股を思いっきり  
開いて…？

ふふん…

はあん…

ふふん…





ふふ…

ひく  
ひく…

プルプル…

………

明日からは  
真面目にね…？

…嬉しいサプライズ  
だった…

すごくよかったわよ？  
二人とも…

…その日以降

魔女志望者たちの  
宿舎では…

ふふ…  
寝たわね…

でも…

